

『颯と流』は、富士・東部地域教育の様々な活動、情報等を掲載し、

地域教育の「横の連携」と「縦の接続」

を目指す富士・東部教育事務所が発行する情報紙です。1年に6回程度の発行を予定しています。

富士・東部教育事務所地域教育支援スタッフでは、

- (1) 家庭、学校、地域の連携による地域ぐるみの教育活動の活性化を図る。
- (2) 地域における体験活動・ボランティア活動の環境を整備し、地域教育力の活性化を図る。

を目標に掲げ、地域の教育力を高めるためのコーディネーターとして、家庭・学校・地域社会がお互いに連携を深め、青少年の健全育成のため活動しております。

子どもたちの教育は地域全体で担う!!

南都留地域教育推進連絡協議会 理事会・総会・講演会開催

南都留地域教育推進連絡協議会では、平成28年度の理事会・総会・講演会を6月22日(水)「山梨県立富士ふれあいセンター」において開催しました。理事会後に開かれた総会・講演会には約140名が出席。総会では、昨年度の事業報告・会計報告・監査報告の後、本年度の役員について、三井恵司下吉田中学校校長を会長とする新役員が承認されました。また、本年度の事業計画・予算についての審議の中で、参加者から「2年ごとに発行している『地域連携・地域交流集』は、幼稚園や保育所、小学校、中学校、高校、支援学校で行われている連携交流活動がまとめられていて大変参考になる。今年、本校で行う連携活動に向け、大いに活用していきたい。」「学校では、地域でいろんな活躍をしている方に、ゲストティーチャーとして教壇に立ってもらっている。その結果、教育効果が上がっている。地域というフィールドの中には教育力を深める機会を持った団体が多くある。学校を運営するにあたり、これからも地域との連携を推進して、未来を担う子どもたちの育成にあっていききたい。」など、多くの意見が活発に出されました。



講演会では、富士吉田市在住の高野寛司氏を講師に『地域防災への備え～御嶽山噴火に遭遇して～』と題してご講演いただきました。高野氏は、御嶽山の火口手前400m付近を登山中、突然噴火に遭遇され九死に一生を得られました。そのときの体験をご自身が撮影された写真を投影しながら時系列で、どう危機管理を図ったか話されました。



参加者からは「私たちが生活している南都留地域は、活火山と言われている富士山の麓です。今回のお話は、今後の地域防災と危機管理に向けた貴重なアドバイスであり、地域が一体となって防災と減災を考えていかなければならないことを改めて感じました。」など多くの感想が聞かれました。

「まちづくりは人づくり、地域の子どもは地域で育てる」 地域教育「明日の風」 北都留地域教育推進連絡協議会 定期総会・教育講演会

北都留地域教育推進連絡協議会では、7月7日(木)に定期総会・教育講演会を大月市民会館(講堂)で開催しました。総会に先立ち、歓迎アトラクションでは、北都留地域に古くから伝わる伝統芸能を引き継ぐ笹子追分人形保存会の子ども達による「笹子追分人形」が公演されました。素晴らしい伝統技能の披露に参加者からは賞賛の拍手がおくられました。

総会では、昨年度の事業報告、会計決算報告・会計監査報告に続き、役員選出が行われました。会長を江口英雄上野原市長とする役員を選出。今年度の体制がスタートしました。平成28年度の事業計画案および会計予算案では、「まちづくりは人づくり、地域の子どもは地域で育てる」のスローガンのもと、北都留地域の各種団体・行政、地域住民との連携を図り「望ましい環境づくり」を推進する多くの事業を可決しました。

教育講演会では文部科学省コミュニティスクール推進員 安齋宏之先生を講師にお招きして、「地域の教育力～『連携』による教育の充実と地域コミュニティの形成～」と題してご講演いただきました。安齋先生からは、

「地域に愛されて育った子どもは、地域を愛する子どもに育つ。その地域の再生は、学校から始めることが大切。今、地域にある教育資源に新たな価値を見出し、それを最大限に活用することが必要。『地域とともにある学校』をみんなの手で創りましょう。」と地域の教育力向上の必要性についてお話いただきました。



明日の風 アスリート実技講習会!!



明日の風アスリートクラブ・北都留地域教育推進連絡協議会主催「明日の風アスリート実技講習会」が、今年度もスタートしました!! 今年は、年間7回の講習会を予定しています。第1回は5月14日(土)に大月市営陸上競技場で開催。小学2年生から中学3年生までの69名が参加。ウォーミングアップ後、10名のスタッフの指導のもと、短距離・長距離・幅跳び・高跳び・ハードル・ボール投げの中から2種目を選び各競技にチャレンジしました。最後の交流リレーでは、大きな声で声援を送り、

さわやかな汗を流しながら、他学年や他校のみなさんとの交流を深めました。

また、6月25日(土)には大月市民総合体育館において、『ホップ』(主催:大月アスリートクラブ・明日の風アスリートクラブ)が開催。小学生から大人まで、合計140名が参加。種目は県内で初めて行われた、ドイツ生まれの種目横断的な子供用ボールゲームのバルシューレやトランポリン・スポーツ吹き矢・ストラックアウト・陸上5種競技・スーパーエアロピクス教室と多種多様。参加者は思い思いの種目にチャレンジ。親子や友達同士で競い合い、さわやかな汗を流しながら楽しい一日を過ごしました。



次回『第3回アスリート実技講習会』は10月1日(土)です。多くの方のご参加をお待ちしています!!

富士吉田地区小中高連携連絡会議・養護教員部会



富士吉田地区小中高連携連絡会議は、小中高の連携において課題となっている「小1プロブレム」「中1ギャップ」や「中高の連携した生徒理解」等の様々な問題を打開するために平成20年に発足。今年で9年目を迎えます。また、平成22年より養護教員部会を立ち上げ、「不応の児童・生徒の現状と対応について」をテーマに小中高の連携を深めてきました。

4月28日(木)、富士吉田市民会館において富士吉田市教育委員会教育長・同教育研修所長、各小中高の校長、教育事務所地域支援スタッフが出席し、『富士吉田地区小中高連携連絡会議』が開催されました。連絡会議では、昨年度の報告と今年度の方向性についての検討、および小中高連携に関わる意見交換が行われました。本年度も養護教員部会を継続して開催し、年間2回の情報交換を行うことを決定。また、各校から異校種間交流の取り組み、各校が抱えている課題について、率直な意見交換がなされました。

6月15日(水)には、20名が参加して第1回養護教員部会を開催。始めに、今年度の計画として情報交換等を中心に活動していくことが確認されました。次に、小学校・中学校・高校の各校種から1校ずつ、自校の現状についての取り組みや課題についての発表があり、その後、活発な情報交換が行われました。参加者からは「今後は、この会以外でも情報交換をしていきたい。」という感想が聞かれました。第2回は平成29年3月15日(水)に開催の予定です。



高校生インターンシップ推進事業 地域連絡会議



5月25日(水)、山梨県総合教育センターにおきまして、平成28年度高校生インターンシップ推進事業地域連絡会議が行われました。

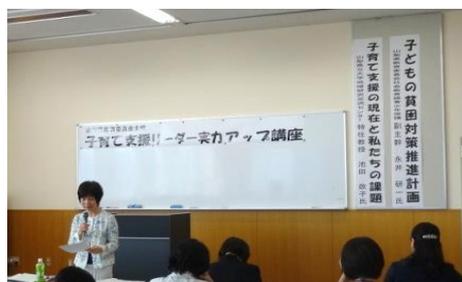
全体会では、インターンシップの昨年度の状況や本年度の事業計画、高校新卒者の就職内定率・求人状況等の説明の後、山梨労働局の担当の方からは近年問題とされている新卒者の離職について、「在学中に職業のイメージや仕事の大変さを知る機会を持つことが、高卒・大卒後の離職率の減少につながるため、職業体験(インターンシップ)を通じた職業意識の向上が有効である。ぜひ、各関係機関の連携を密にしてほしい」との説明がありました。

富士・東部地区の地域連絡会議では、進路指導主事・インターンシップ担当者による各校の実践状況が発表されました。各学校の特色に応じた体験活動の状況やインターンシップの実施に向けた学校での事前・事後指導の取り組み、新規受け入れ企業の開拓における課題など活発な意見交換が行われました。ハローワーク富士吉田の渡邊亜矢子学卒ジョブサポーターからは、「先日の企業向け学卒求人説明会には、参加が昨年以上あり、企業は新卒採用の意欲が高い。インターンシップは、高校生に仕事のイメージや大切さを知ってもらうために有効である。ハローワークでも事前学習におけるマナー指導等の協力をします。」とのアドバイスをいただきました。

子育て支援リーダー実力アップ講座

地域での子育てや家庭教育支援の活動を

積極的に推進できる人材の養成！！



山梨県では、山梨県立大学との協働により地域の子育てネットワークづくりのための子育て支援リーダー実力アップ講座を開講しています。同講座では、年間9回の講座を計画。支援者同士のネットワークづくりや情報交換などとともに、相談業務、特別支援教育など多様な支援に対応した最新の理論やスキルを学ぶことができます。

第1回、第2回は、6月17日(金)と7月1日(金)に県立大学で開催され、子育て支援関係者、保育士、児童委員等約33名が参加しました。

第1回目は、県が策定した「子どもの貧困対策推進計画」についての説明があり、その後「子育て支援の現在と私たちの課題」というテーマのもと、講座やグループワークを通して子育て支援をしていく上での課題を考え、その解決方法を探究。今、抱えている課題についてそれぞれの立場からの意見交換が活発に行われ、グループごとに課題の絞り込みをし、代表による発表を行いました。

第2回目は、「家庭教育支援の技術をみがく」というテーマで講義とワークショップが行われました。「親子で楽しく身体表現あそび一心・ふれあう・親子コミュニケーション」では、実際に身体を動かし体感しながら、心身の発育発達を促す遊びの理論と技術を学習しました。参加者は童心に返って自ら楽しむとともに、具体的な実践例を身につけることが出来たようでした。



都留興譲館高校で都留文大生が研究授業



7月8日(金)、都留興譲館高等学校では、連携協定を結んでいる都留文科大学(福田誠治学長)の学生による研究授業が実施されました。両校の交流活動は、桂高校と都留文科大学が連携協定を結んだ2012年度からこの研究授業が実施され、2014年12月より、桂高校から都留興譲館高校に引き継がれました。

当日は、同大学文学部英文学科・松土清研究室の学生約10名が3つのグループに分かれて、約15分ずつ、各班がリレー形式の「マイクロ・ティーチング」による英語の授業が展開されました。授業に参加した高校生(2年生)は、アクティブ・ラーニングを取り入れた内容に、主体的に臨んでいました。

また、参観者には、小中高大連携の研修協力校である谷村第一小学校などからの教員がおられ、授業後に現職の教員から貴重なアドバイスをいただくことができ、学生達にとっては大変有意義な実習となりました。

今回の研究授業は、大学生にとっては教壇に立つまたとないチャンスであり、教えることの難しさを体験し、今後に向けて「もっと学ぼう」という意欲が高まり、高校生は身近な大学生を将来のモデルとして、自分の進路に対して積極的に考える機会となりました。さらに参観をした先生からは、「大学生のフレッシュな授業を見ることで、自らの授業を振り返り、改善させていく良い機会にもなっている。」との意見をいただきました。

今後もこの連携活動は、継続されていきます。



やまびこ支援学校 スポーツフェスティバル



県立やまびこ支援学校(藤川健校長)の「第37回スポーツフェスティバル」が5月28日(土)に開催されました。小学部と中等部の児童・生徒あわせて47名と、保護者および学校関係者が参加して、同校の体育館とグラウンドにおいて実施されました。

はじめの会では、校長先生から「今までの練習の成果が発揮できるように頑張りましょう。」と話があり、次に、生徒代表による宣誓が元気

よく行われました。午前中は、小学部・中等部のエールの交換の後、各部それぞれの種目発表が行われ、小学部の「やまびこ・ソレイユ」では、キャスターボードや縄とび等を使って、それぞれの実態に応じた息の合った演技が披露されました。また、中学部の「わ～輪になろう～」では、全員でダンスを行った後、グループごとに大縄を使ったパフォーマンスなどが披露されました。皆、元気よく最後まであきらめずに、一生懸命取り組んでいました。観客の方々からも大きな拍手が送られました。午後の部では、交流種目として、「フォークダンス」「玉入れ」を楽しみ、学年や地域を越えて互いに交流を深めることができました。



ふじざくら支援学校 オープンスクール

県立ふじざくら支援学校(下倉史彦校長)の「オープンスクール」が6月23日(木)に実施されました。

昨年度から、参加者に日頃の教育活動や生徒の様子を見学していただくために、平日の授業の時間帯の中で行い、当日は約120名の参加がありました。

学校の概要説明では、「昨年創立20周年を迎え、今年度は新たに30周年に向けた地域教育支援を目的にスタートしました。」との挨拶に続いて、各部の学習内容や「共同及び交流学习」における学校間交流についての説明がありました。その後、「校内案内」や「授業見学」が行われました。また、特別支援教育に関する専門書やふじざくら支援学校で使用している教科用図書、教材、自助食器等の展示、各学部

の作品展示、高等部の修学旅行や校内実習・現場実習の様子も紹介されました。

ふじざくら支援学校では小・中・高の各部で連携を図り、多様な児童生徒の障害や発達に応じた教育課程を編成し子どもたちに対応しています。また、同校地域支援部では、「教育相談」「授業体験」「訪問支援」「地域支援だより」の発行「専門書の貸し出し」「視覚障害児・聴覚障害児への支援」等の活動を行っています。特別支援教育に関する様々な相談については随時対応しますので、お気軽にご連絡ください。連絡先 0555-72-5161(同校地域支援部)



山梨県立産業技術短期大学校 小中学生向け出張授業について

産業技術短期大学校は、「ものづくりとホスピタリティ」を教育理念として、機械・電子産業、情報通信業等を支える人材や観光旅行業を担う人材の育成に向けた様々な授業を行っています。

こうした授業を当校教職員が小中学校に出向き実施することにより「ものづくりの」の仕組みや面白さを伝え小中学生のキャリア教育に役立てていただきたいと考えています。

ご提供できる出張授業等のテーマ例は、次のとおりですが、この他にも御要望に応じて、いろいろ検討させていただきます。



平成28年度 小学校向け出張ものづくり体験塾一覧

種目名	内 容	定員
機械	円筒ネームプレートの製作(樹脂製)	10
機械	木製ネームプレート製作	別途相談
機械	直流モータの製作	別途相談
機械	ゴム鉄砲の製作	別途相談
機械	ペットボトルを使ったサイクロンクリーナの製作	別途相談
電子工作	フルカラーLEDライトを作ってみよう	15名程度
理科工作	フワフワうかんでクルクルまわる風車をつくろう	15名程度

平成28年度 小中学校向け出張授業一覧

教科等	指導者	内 容	可能日
理科	水上 正巳	力を拡大する機械	連絡後調整
理科	竹内 洋一	こまの仕組み	連絡後調整
理科	竹内 洋一	吹き矢の仕組み	連絡後調整
技術	竹内 洋一	ものの形を伝える(製図)	連絡後調整
理科	櫻 伸一郎	機械の部品ができるまで	連絡後調整
理科	齋藤 伸自	金属のくっつけ方	連絡後調整
情報	藤田 卓志	プログラミング言語「Scratch」の体験	連絡後調整
理科	廣瀬 英二	太陽光発電でLEDを光らせてみよう	連絡後調整
理科	飯田 幸美	電気を通す物と通さない物を比較してみよう	連絡後調整

【お問い合わせ先】

山梨県立産業技術短期大学校 都留キャンパス 教務学生課

〒402-0053 都留市上谷5-7-35

Tel : 0554-43-8911

Fax : 0554-43-8919

【 カラー版は、富士・東部教育事務所のHP からご覧いただけます。】

URL : <http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-ft/index.html> 】

地域の皆様のご支援ご協力を得ながら、実りある実践となるよう努めて参ります。各事業についてご意見ご要望がありましたら、地域教育支援スタッフまでご連絡ください。

※連絡先 富士・東部教育事務所 地域教育支援スタッフ 0554-45-7841